

2019年4月11日

## DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

### D I C 1.5MW の自家消費用「太陽光発電設備」を 5 事業所に設置

— 2030 年度までに CO<sub>2</sub> 排出量 30% 削減目標 —

D I C 株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、サステナビリティ活動における環境対策の取組みとして、国内 5 事業所に合計 1.5 メガワット（以下 MW）の自家消費用「太陽光発電設備」の設置が完了したことをお知らせします。



鹿島工場の太陽光発電設備（約 1.6MW）



館林工場の太陽光発電設備（約 1.3MW）

このたびの設置は、2018 年 1 月に自家消費用の「太陽光発電設備」として国内最大級規模の設備（約 1.6MW）を設置した鹿島工場（茨城県神栖市）に続くもので、設置事業所は館林工場（群馬県館林市）、千葉工場（千葉県市原市）、埼玉工場（埼玉県北足立郡）、四日市工場（三重県四日市市）、総合研究所（千葉県佐倉市）の国内 5 事業所になります。館林工場においては、今回の導入で最大規模となる約 1.3MW 分の設備を遊休地に設置し、鹿島工場に次ぐ規模となりました。また、他の事業所においては設置場所の規模に応じたパネルの配置と、地盤など設置環境に応じた設置工法を採用し、発電効率の向上と安定運用を実現しました。今回の設置により、合計で年間 900t の温室効果ガス（以下 CO<sub>2</sub>）削減効果が見込まれます。

当社は、環境対策として「太陽光発電」以外にも「バイオマス発電」、「メタンガスボイラ」、「風力発電」などの多様な再生可能エネルギー設備を導入し、各事業所におけるエネルギーのベストミックスを追求しながら電力や熱の自家消費を行い、地球温暖化防止につながる対策を本社主導で実施しています。

DIC グループは、本年 1 月にスタートした新中期経営計画「D I C 1 1 1」において、サステナビリティ活動における環境対策目標で「2030 年度までに CO<sub>2</sub> 排出量を 30% 削減（2013 年を基準年として）」を掲げています。サステナブルな社会の実現に貢献するため、工場から排出する CO<sub>2</sub>

排出量の削減を公約し、今後は国内事業所に加え、国内グループ会社、海外グループ会社においても再生可能エネルギー設備の導入を進め、原材料の調達、製品の配送、廃棄などサプライチェーン全体を通じての CO<sub>2</sub> 排出量の削減に努める所存です。

以上

## 【関連ニュースリリース】

- 中国子会社・青島迪愛生精細化学有限公司が太陽光発電設備を導入（2018年4月26日）  
[http://www.dic-global.com/ja/release/2018/20180426\\_01.html](http://www.dic-global.com/ja/release/2018/20180426_01.html)
- サイアムケミカルインダストリー社に太陽光発電設備を導入（2017年9月22日）  
[http://www.dic-global.com/ja/release/2017/20170922\\_01.html](http://www.dic-global.com/ja/release/2017/20170922_01.html)
- 鹿島工場にメガソーラー（大規模太陽光発電設備）を導入（2017年7月31日）  
[http://www.dic-global.com/ja/release/2017/20170731\\_01.html](http://www.dic-global.com/ja/release/2017/20170731_01.html)